

広報 しんち

85号

3月1日現在

🏠 1,958世帯

♂ 男 4,316人

♀ 女 4,445人

合計 8,761人

53/4

かあさんのうた



上真弓 (福田小五年)
林 真津子



夜おそく

私は本を読んでいた
戸をガラリとあけて
だれかがゆつくり歩いて来た
私はしかられると思って
ふとんの中にもぐりこんだ
それは おかあさんだった
私はおもいきって
「おかあさん 私のところにねてもいいよ」と言った
「うん」といっておかあさんは
私のふとんにもぐった
一分たつと あくびをして
ぐうぐうねてしまった
そして ふとんの中が
おかあさんのにおいて
いつばいになった

〔一男一女の母 ナミ子さん、農作業に余念がない働きもののお母さんである〕

今月の主な記事

農村総合整備計画策定	2
三月定例町議会	3
新年度予算特集	4, 5
年金だより	6
町民グラウンド造成完了	7
おしらせ	8

「かあさんのうた」募集中
(くわしくは8Pをご覧ください。)

農工並進の町づくり 「農村総合整備計画」策定 60年代に向けスタート

いつそう住みよい町づくりをめざす「農村総合整備計画」がまとまりました。策定にあたり、町では地区懇談会の開催や住民のみさんのアンケートを通して要望をとりまとめ、原案を作成、各種団体の代表からなる農村総合整備計画事業推進協議会に諮問し、その答申を得て作成しました。計画書は農村の現状と問題点、農村総合整備の構想、整備計画からなり、今月号では農村総合整備の構想の概要についてお知らせします。

昭和六十年には 人口二万三千人に

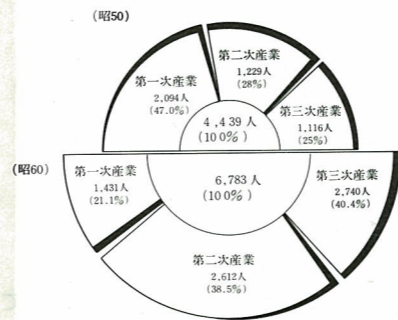
農村の将来像

町はこれまで純農村的風土の生活環境に培われてきており、今後は自然環境と経済開発との調和が最も基本的な方向になることが考えられる。この理念から、まず農業基盤整備を促進し、農業近代化のうえに工業開発をすすめる、自然環境を守り公害のない豊かな町の実現をはかる。いわゆる「農工並進型」の町づくりを行う。そして、「住みよく健康のあふれる町」、「産業の豊かな町」、「文化と知性のかげやく町」をめざす。

人口の将来予測表
()内は構成比

階層別	昭和50年	昭和60年
0～14歳	1,902 (22.1)	2,547 (19.1)
15～39歳	2,876 (33.4)	5,832 (43.6)
40～64歳	2,821 (32.7)	3,681 (27.5)
65歳以上	1,018 (11.8)	1,303 (9.8)
総人口	8,617 (100.0)	13,363 (100.0)

産業就業人口の現在と将来



第一次産業の振興が 最大の課題

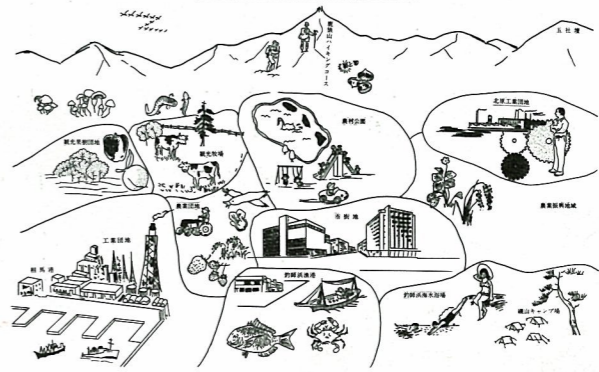
産業振興の構想

町の産業構造は、第一、第三次産業が年々増加している。この傾向は、今後とも続くものと思われる。しかし、こうした傾向の中に、第一次産業の生産額が全体の

人口は、生活環境の整備、充実とあわせて企業誘致を行うことで、若年人口の流出はなくなり、増加の傾向をたどる。そして、昭和六十年には人口一萬三千人、世帯数三千二百世帯程度になることが予想される。就業構造は第一次産業から第二次、第三次産業への移行がみられ、安定した町民所得の向上が図られる。

三四・二割と第一位を占め、その振興が最大の課題となっている。

新地町の将来像



生活環境整備に対する住民の欲求は、きわめて多様化し細分化されてきており、今後さらに予想される都市化の進行に対応し、より住みよい農村社会の建設をすすめる必要がある。まず地域住民の日常生活に密着している集落内道路、周辺集落間連絡道路網、水道、集落家庭排水施設、防災対策など基礎的條件を整備する。さらには、保健医療、公園、運動場、教育文化などの施設を高度な水準に整備する。整備にあたっては、生活の安全性、利便性および快適性を確保するよう体系的にすすめる。

三月定例町議会

新年度予算 水道課設置などを可決

三月定例町議会が、三月十日から十七日までの……
……八日間の日程で開かれ、昭和五十三年度の一般会計……
……計、特別会計予算など二十議案を審議し、原案通……
……り可決しました。……
……議案の主な内容は、次のとおりです。……
……は一千五百三十六万三千円となりました。

可決された 議案

- ◇昭和五十三年度一般会計 特別会計予算
(内容は四、五頁に掲載)
- ◇昭和五十二年年度一般会計補正予算
今回の補正は、決算見込みによる実績調整をしたものです。今回の補正で三百九十二万六千円を減額し、この結果、五十二年の予算総額は十一億一千四百九十三万五千円となりました。
- ◇歳出の追加する主なものは、
▽老人医療費九十七万六千円▽緊急粗糞処理総合対策事業補助金七十七万一千円▽駒ヶ嶺地区洪水防除事業負担金九十一万六千円▽県道赤柴中島線改良舗装事業負担金二百九十九万七千円▽相馬港湾修築事業負担金三百四十七万四千円▽公債費六百四十四万二千円などです。
- ◇昭和五十二年年度新地簡易水道事業特別会計補正予算
九十四万三千円を追加補正し、この結果、五十二年の予算総額は

会計に移管されるのに伴い、関係条文の一部を改正したものです。
◇町営土地改良事業の施行について
南浪沢地区十九分の農地開発を町営土地改良事業として施行するにあたり、県知事に認可申請するため議会の議決を得たものです。なお、農地造成は、今年度から五十五年までの三カ年計画で行われます。

火発誘致の促進 特別委員会を設置

「火力発電所誘致促進特別委員会」が、三月定例町議会設置されました。

火発誘致の促進 特別委員会を設置

「火力発電所誘致促進特別委員会」が、三月定例町議会設置されました。

議会は、昨年八月、戸喜治議員を委員長とする「電源開発調査特別委員会」を設置されました。そして、これまで八回におよぶ委員会の開催と秋田、南横浜、新仙台火力発電所などの視察を行い、公害、電源三法、雇用などについて調査研究してきました。これらの調査研究に基づき、特別委員会では、火力発電所を誘致すべきである」との結論をまとめ、三月議会で報告しました。

町でもこの結論をふまえ、火力

その他の可決議案

- ◇職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◇新地町消防団設置等に関する条例の制定
- ◇新地町消防団員の任免服務等に関する条例等を廃止する条例
- ◇新地町国民年金印紙購入基金条例の制定
- ◇福島県市町村非常勤職員公務災害補償組合の設立
- ◇議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例を廃止する条例
- ◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

4月16日は町議会議員

補欠選挙の投票日です。

議会議員の欠員が4名となったことにより、補欠選挙を行います。
▷投票日時 4月16日(日)
午前7時～午後6時
▷選挙権 昭和33年4月7日までに生まれたかたで、

昭和53年1月5日までに転入届を出したかた。
▷不在者投票 4月9日から15日まで、役場住民室で行います。

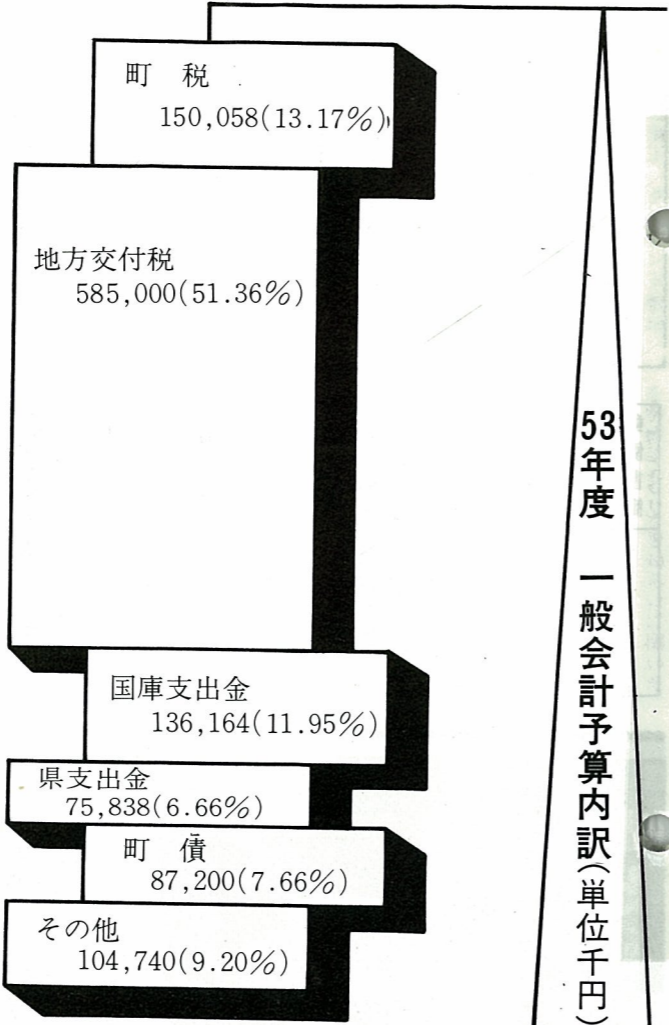




▲釣師地区に浜保育所を建設、10月には開所予定です。

昭和53年度一般会計予算 11億3,900万円

歳 入



53年度 一般会計予算内訳(単位千円)

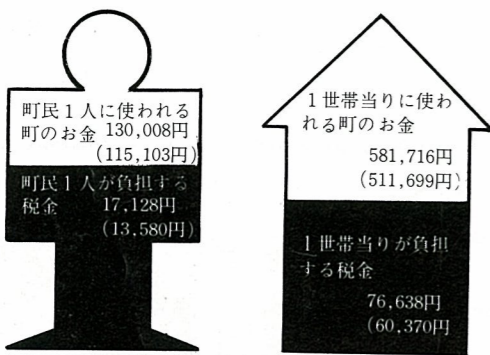
特別会計予算

() 内は前年度に対する伸率

国民健康保険	3億1,611万円 (5.07%)
新地簡易水道	2,437万円 (△82.07%)
駒ヶ嶺簡易水道	40万円 (△89.08%)
上真弓飲料水供給施設	4万円 (△89.8%)

町民の町税負担額と還元額

() 内は前年度額

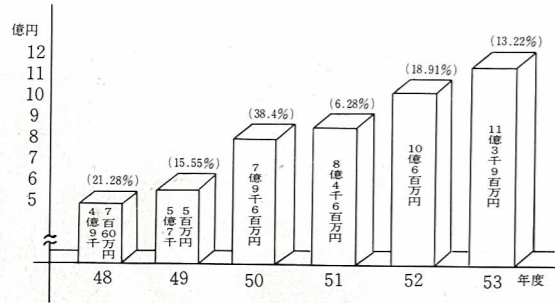


町税とは町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ消費税などをいいます。

一般会計当初予算

過去6年間の動き

() 内は前年度に対する伸率



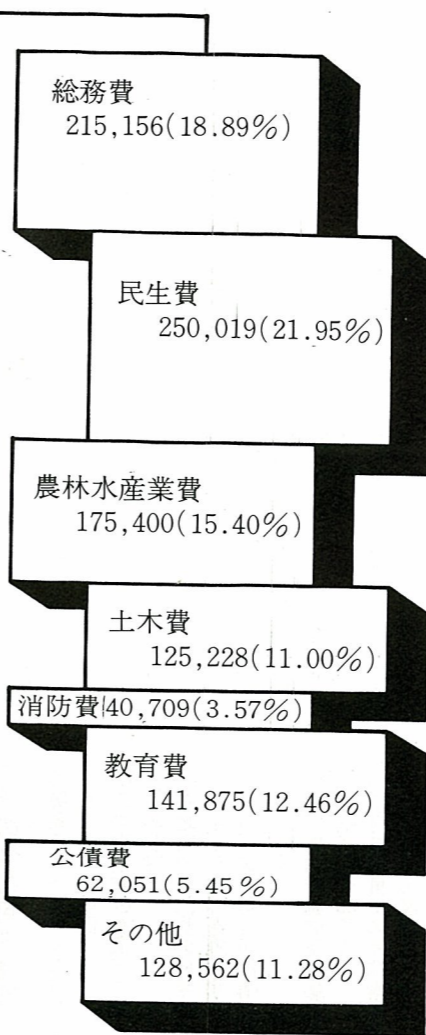
▶今年度も菅谷・今神線をはじめとする町道の整備を行います。



今年度のおもな事業

100万円の つかいみち

歳 出



今年度のおもな事業

- 昭和五十三年度の一般会計予算が、総額十一億三千九百万円と決まりました。この数字は、前年度当初予算に比べ一億三千三百万円の増、十三・二三割の伸びとなっています。
- 特別会計では、国民健康保険特別会計が三億一千六百一十一万三千円、前年度当初予算に比べ五・〇七割の伸びとなっています。新地簡易水道、駒ヶ嶺簡易水道、上真弓飲料水供給施設特別会計は、予定です。
- ◇**広域水道に着手**
◇**浜保育所を建設**
六千四百六十九万円
年々多くなる保育の入所希望と浜通りの児童の通園を考慮して、釣師地区に保育所を建設します。定員は九十名で、十月一日に開所する予定です。
- ◇**環境整備を第一に**
新地町全域を対象とした広域簡易水道を、今年度から着工します。完成は昭和五十六年で、給水計画人口は八千六百人の見込みです。
- ◇**町民グラウンドを整備**
三千百二十万円
町民グラウンドの擁壁工、排水工などの付帯工事と用地取得を行います。なお、グラウンドの敷地は、三月に第一期工事が完了しており、夏頃仮オープンする予定です。
- ◇**モデル事業今年度指定**
八百二十八万円
今年度に農村総合整備モデル事業の指定を受け計画を策定し、五十四年度から事業実施になります。
- ◇**町道・農道の整備を**
三千二十万円
◇**辺地対策整備事業**
三千二十万円
●町道中里上真弓線
五十二年改長終点より延長二百八十号(幅員六・三)の改良工事。
●町道町狼沢線
笠松より西九百二十号(幅員五・五)の舗装と五十二年改長終点より西延長百五十四号(幅員六・三)の改良工事。
●臨時地方道整備事業
一千五百五十万円
●町道菅谷新町線
改良区間延長八百二十号の舗装工事。
●一級道路整備事業
三千六百万円
●町道菅谷今神線
改良区間延長一千三百六十八号(幅員六・五)の舗装工事。
●第二新地地区団体営業道舗装事業
岡地内笠松から杉目中丁に通じる農免道路の未舗装区間八百四十四号の舗装工事。
●農場の近代化を
◇**ほ場整備を促進**
四千三百二十九万円
県営ほ場整備事業は、今年度、第一工区鉄道東の約七十号について行います。また、ほ場整備事業に関連して、鴻ノ巣ダム堤体の漏水防止工事、長清水溜池の波除工、付帯工事を行います。
◇**南狼沢を農地造成**
二千二十一万円
南狼沢地区山林十九号を農地造成し、桑園、飼料作物等の農地にする予定です。
◇**港湾の整備を**
一千五百八十万円
北防波堤延長三十五号の基礎工事及び堤体工事。
◇**相馬港**
六百六十六万円
◇**地籍調査事業**
二千五百二十万円
今年度の調査地区は、福田、真弓、岡の一部三・五平方メートルです。

おいらせ



請求をお忘れなく 遺族年金等の 支給範囲が拡大

恩給法、援護法等の一部が改正され、遺族年金等の支給範囲が拡大されました。

今回の改正で、新たに受給権を取得されたかた、及び各種給付金の継続支給を受けようとするかたは、請求が必要で、

該当すると思われるかたは、役場住民課福祉係までご連絡ください。

改正された主な内容

- ▽遺族一時金が年金化され、支給額が年額九万円になりました。
- ▽遺族年金、公務扶助料等の支給範囲が拡大されました。
- 勤務関連傷病による障害年金、恩給法の特例傷病恩給を受けているかたが死亡した場合に、遺族のかたに遺族年金又は遺族給与金が支給されます。

○戦没者の子が不具廃疾で生活資料を得る道がない場合は、結婚した場合でも扶助料が支給されます。

▽戦没者の妻、父母及び戦傷病者の妻に対する特別給付金の支給範囲の拡大ならびに継続支給の措置がなされました。

住民課

技能検定試験

申込みは五月一日～十四日

「技能検定」は、いろいろの職場の技能者が、努力と経験で身につけた「うで」を、一定の基準で国が検定する制度です。

対象となる職種は、造園、機械加工、洋裁など九十職種で、これを一級、二級に分け、実技、学科試験を行い、合格者には「技能士」の称号が与えられます。

技能検定試験は、職種によって

前期、後期に分けて行われますが、前期の申込みは五月一日から同十四日までとなっています。実施職種は、板金、塗装、木工、左官など二十三職種です。

くわしくは、県商工労働部職業訓練課(☎〇二四五―二二―一一)又は県技能検定協会(☎〇二四五―二二―一三五七)にお問い合せください。

県職業訓練課

お忘れなく

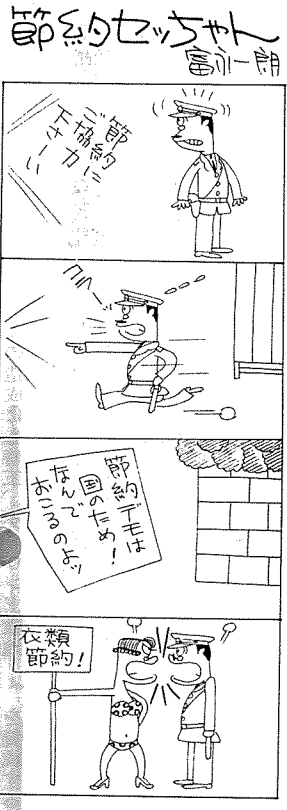
労働保険の年度更新

昭和五十三年年度の労働保険(労災保険、雇用保険)の年度更新をする時期がまいりました。

四月初めに局、又は県から送付される申告書用紙と記入要領をよく読んで、五月十五日までに自主申告、自主納付を最寄りの金融機関、郵便局等でされますようお願いいたします。

また、期日までに申告できるよう貸金台帳等を整備しておいてください。

福島労働基準局
福島県商工労働部



今月の納税

軽自動車税	全期
固定資産税	第一期

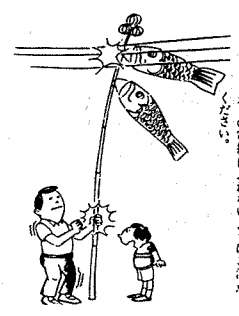
二月届出

▽出生(届出は十四日以内)
おめでとーございませう

裕介	佐藤	秋城	内川
公勝	伊藤	勝雄	小川
達也	伊藤	節雄	釣師
哲生	木村	正義	濱民
隆史	加藤	則夫	新地町
鉄男	寺島	茂光	大戸浜
さとみ	菅野	繁生	大戸浜
慶子	橋本	正純	藤崎

▽死亡(届出は七日以内)
おくやみ申し上げます

星	卯七	城内
大堀	ふよ	中島
本田	ハナヨ	上真弓
荒	虎雄	明地
水戸	サク	新地町



感電!! 注意!!
感電!! 注意!!
感電!! 注意!!

町長日記

二月

13日	陸上自衛隊第十一施設群長表慶訪問
14日	民生委員制度六十周年大会
15日	宇多川ダム打合せ
16日	り災救助基金協議会
17日	大熊町役場庁舎落成式
18日	相馬地域開発特別委員会
20日	県社会教育委員会
21日	旧村財産区特別委員会
22日	交通安全相双県民大会
23日	県町村会正副会長会議 相馬地方町村会
24日	県町村会定期総会 国民健康保険定期総会
25日	木崎部落総会
27日	県自治会館運営委員会
28日	県福祉事業協会理事会
1日	新地高校卒業式
2日	水産関係陳情
5日	福田婦人会総会 民謡発表会
7日	法務局相馬支局落成式
8日	民生児童委員協議会
9日	土地改良区換地関係者会議
10日	町議会(17日まで)

「かあさんのうた」募集中

係では、表紙に掲載する「かあさんのうた」を募集しています。「母」と題する詩、作文を二百五十字程度にまとめ、役場企画開発課までお寄せください。また、広報に対するご意見、ご要望もあわせてお寄せください。